

3月初めではまだ春というには早い気がしますが、これを3月末に読まれる方はもう桜の季節ということで、月刊誌の難しいところです。(といっても、毎週出す気になったわけではありませんが)

さて、銀行などの救済や、いわゆる公共事業には何千億円とか何兆円というお金が動くようですが、医療や福祉にはきびしい世の中になってきました。

65才から69才の老人医療の縮小、近い将来(1年後?)には70才以上の老人医療の負担増(月2000円までが、1割負担に?)、薬代の自己負担増などの改悪がおこなわれようとしています。

偉い人たちは、道路や橋をつくるのは投資と考えても、健康のために使うお金は投資とは考えないようです。どうも形の見えないものは、軽視されるようです。

患者さんの受診状況を見ても、できるだけ病院へ行く回数をへらす努力をされているようです。それが無駄な医療費を減らすだけなら良いのですが、必要な医療を受けられなくなるとしたら、本末転倒だと思います。

保険医療では制約が多く、すべての方に満足いく医療というのは難しいですが、できるだけ理想に近づけるようがんばりたいと思いますので、ご意見ご希望があれば遠慮なくお申し出下さい。

院長 菊池 博

### 老人医療の負担金について

老人医療の窓口負担金が、現在の1日**500円**(月4回まで)から、**4月1日**より1日**530円**(月4回まで)になります。ご了承下さい。

### 地域振興券について

当院でも地域振興券をご利用になれます。ただし、1000円未満のおつりは出せませんので、よろしく願いいたします。

使用可能な期間は、**3月23日(火)**から**9月22日(水)**までです。

### 大腸ポリープ切除術の開始のお知らせ

内視鏡(大腸ファイバー)によるポリープ切除術を器械が入り次第、3月中旬頃よりはじめたいと思います。詳細については、いずれこの誌面でもお知らせいたしますが、お気軽にお問い合わせ下さい。



(上) HbA1c分析装置「DCA2000+」  
(バイエル・三共株式会社)

調整や手入れの必要がほとんどなく、検査技師も不要です。

結果は大病院の器械と比べても十分正確です。中で検査容器を振っているの、コトコトと少し音がするのが玉にきずです。

### 血液検査の器械のご紹介 (2)

もう一台の器械をご紹介します。  
糖尿病で通院中の患者さんにはおなじみだと思います。待合室にポスターを貼っていますが、糖尿病の治療の目安として大切な血液検査である、グリコヘモグロビン(正確には、ヘモグロ<sup>エイワンシー</sup>ビンA1c)の測定器です。これは過去2か月間の平均の血糖値がわかる検査です。つまり診察日の前日だけ、食事を減らしてもごまかしが利きません。1000分の1ccの採血(採血の注射器の中に残った血液で検査ができます)で、約6分あれば結果が出ます。



(左) おまけで、尿検査の器械です。

尿に浸した試験紙を差し込むと、色を読みとって結果を打ち出します。

まあ目で見ればわかることですから、あまり値打ちがないような気もしますが...

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12							×
午後4~7			×			×	×

### 菊池内科(内科・消化器科)

〒581-0003 八尾市本町7-11-18 八尾メディカルアベニュー2F

電話 0729-90-5820 ファックス 0729-90-5830

ホームページ <http://www.kikuchi-clinic.com/>

電子メール [hiroshi@kikuchi-clinic.com](mailto:hiroshi@kikuchi-clinic.com)